

2021年

8月7日(土)～
10月24日(日)



UEMURA

SHOEN

「序の舞(下絵)」部分
昭和11年(1936年)

下絵と素描に見る 上村松園

— 珠玉の絵画を求めて —

京都市京セラ美術館
相互割引

京都市京セラ美術館開館1周年記念展「上村松園」
「序の舞」や「焰」などの本画を一堂に展示！(展示替えあり)
【会期：7月17日④～9月12日⑥】の観覧券(半券可)提示
で、本展当日券を受付にて100円引きでご購入いただけます。
詳しくは美術館事務所にお問い合わせください。

【主催】公益財団法人 松伯美術館

●休館日/月曜日(祝日の場合は開館) ●開館時間/午前10時～午後5時(入館は午後4時まで) ●入館料/大人(高校生・大学生含む)…820円 小学生・中学生…410円
※20名以上の団体は1割引、障がい者手帳のご提示によりご本人と同伴者1名まで2割引

割引入館券を近鉄の主要駅にある駅営業所にて販売
しております。*学園前駅では販売していません

●発売期間/2021年7月26日(月)～2021年10月24日(日)
●割引入館料金/大人(高校生・大学生含む)…650円
小学生・中学生…320円



検索 松伯美術館

松伯美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号
TEL(0742)41-6666 / FAX(0742)41-6886



〔焰下絵〕大正7年(1918)



〔楊貴妃下絵〕大正11年(1922)



〔船下絵〕昭和13年(1938)



〔晩秋下絵〕昭和18年(1943)



〔草紙洗小町下絵〕昭和19年(1944)



〔初夏の夕下絵〕昭和24年(1949)



〔娘下絵〕大正15年(1926)



〔待月下絵〕大正15年(1926)



〔花がたみ下絵〕大正4年(1915)

下絵と素描に見る 上村松園 —珠玉の絵画を求めて—

初期から絶筆「初夏の夕」まで
約60点の大下絵を制作年順に一堂に展覧

上村家に残された多くの下絵の中から本展では上村松園の下絵を中心に、制作の過程を辿る「下絵と素描に見る上村松園—珠玉の絵画を求めて—」を開催いたします。普段目にする事のない下絵や素描類から、本画に至るまでの試行錯誤の跡をたどり、松園が目指した絵画芸術の神髄に迫ります。

「一点の卑俗なところもなく、清澄な感じのする
香高い珠玉のような絵こそ私の念願とするところのものである」
(上村松園著「青眉抄」より)

下絵や素描を通して、上村松園の理想の美の根源を深く知って頂く貴重な機会となれば幸いです。

松伯美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号

TEL (0742) 41-6666 / FAX (0742) 41-6886

http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/shohaku/

次回 上村松園展 2021年11月2日(火)
展覧会 「美の構成」に触れる ~2022年2月6日(日)

松伯美術館友の会 会員を募集しております。皆さまのご入会をお待ちしております。

【交通のご案内】
近鉄奈良線「学園前駅」北口バスターミナル⑥番のりばよりバスで約5分、「大洲橋(松伯美術館前)」下車、大洲橋を渡った右側。※駐車台数に限りがあるため、できるだけ「電車・バス」でお越し下さい。

